

経営課題1

多くの区民が、近所づきあい、つながり、きずながあり、ふるさと城東区を誇りに思うまちづくり

城北川



城東区合唱祭



生涯学習ルーム
舞台発表会



城東まつり



めざすべき将来像（概ね10～20年間を設定）

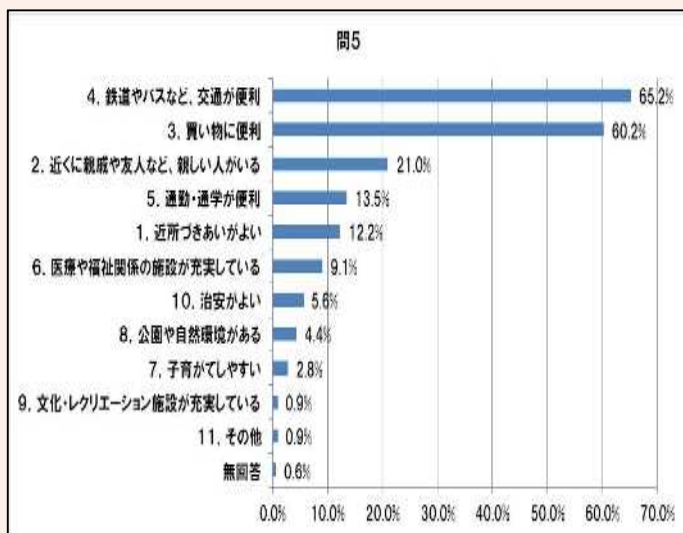
さまざまな活動主体が互いに連携して活動し、コミュニティが豊かになっている

現状・データ

H26区民モニター

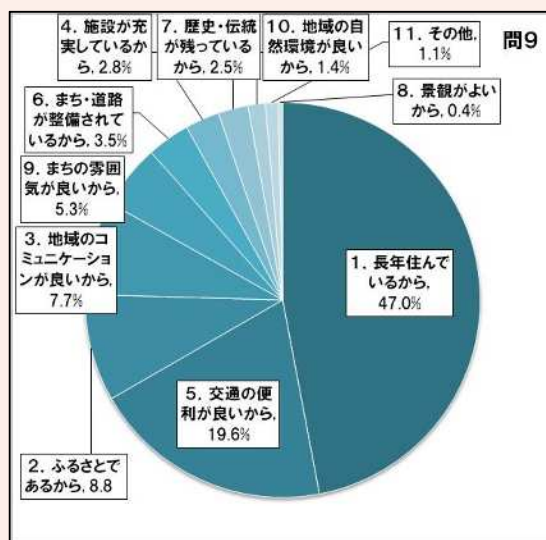
[問4] 城東区は住みやすいまちと感じる区民 96.6%

[問5] 住みやすいと感じる理由（2つまで選択）



[問8] 城東区に愛着を感じる 86.4%

[問9] 愛着を感じる主な理由



現状・データ

◆H26区民モニター：住民同士の「つながり」や「きずな」が増えてきていると感じる区民の割合
(単位：%)

問6		1. 感じる	2. ある程度感じる	3. あまり感じない	4. 感じない	無回答
全体		11.8	33.9	41.2	10.3	2.7
年代別	20歳代以下	0.0	25.8	61.3	12.9	0.0
	30歳代	8.1	40.3	45.2	6.5	0.0
	40歳代	4.8	30.6	46.8	14.5	3.2
	50歳代	5.0	35.0	47.5	10.0	2.5
	60歳以上	21.5	34.1	30.4	9.6	4.4

◆H26区民モニター：住民同士の「つながり」や「きずな」が増えてきていると感じる区民の主な理由 (単位：%)

問7		1. 日頃からあいさつをする相手が増えたから	2. 祭りなど地域イベントに参加する機会が増えたから	3. ボランティア活動に参加する機会が増えたから	4. 子育てや学校を通じて知り合いが増えたから	5. サークルや習い事を通じて知り合いが増えたから	6. ラインやフェイスブックなどのSNSで知り合いが増えたから	7. その他
全体		57.0	16.6	6.0	12.6	3.3	1.3	3.3
年代別	20歳代以下	62.5	12.5	0.0	0.0	12.5	12.5	0.0
	30歳代	43.3	20.0	0.0	33.3	0.0	3.3	0.0
	40歳代	40.9	22.7	0.0	36.4	0.0	0.0	0.0
	50歳代	68.8	12.5	6.3	6.3	6.3	0.0	0.0
	60歳以上	64.0	14.7	10.7	0.0	4.0	0.0	6.7

分析

- ・住みやすいと感じている区民は多いが、その理由の大半は「交通や買物が便利」ということである。また、愛着を感じると86.4%の方が答えているが、その理由についても、「長年住んでいるから」「交通の便がよいから」が主なものとなっている。「地域コミュニケーションがよい」や「まちの雰囲気がい」「歴史伝統が残っている」という理由は10%に満たない値となっている。
- ・「つながり」「きずな」については高齢者層と若年層との感じかたに違いがある。

課題

交通や買物に便利という理由だけでなく、地域コミュニティや都市魅力を理由としてまちに愛着を感じ、また、年齢を問わず、「つながり」「きずな」を感じるまちづくりへの取組が必要である。

【戦略1－1】

タテ・ヨコ・ナナメでつながるまちづくり

めざす成果（概ね3～5年間を設定）

《めざす状態》

様々な活動主体が連携し、コミュニティが豊かになっている状態

《成果目標》

- ・住民同士の「つながり」や「きずな」が増えてきていると感じる区民の割合 平成29年度末までに60%以上をめざす。
- ・各活動に参画している人へのアンケートで、各活動を通じてまちづくりの輪が広がったと感じる割合 平成29年度末までに80%以上をめざす。
- ・各イベント・事業に参加した人へのアンケートで、また参加したいと思う割合 平成29年度末までに80%以上をめざす。

戦略

- ・各地域活動協議会が取り組んでいる、様々な活動の内容や会計について、広く区民に周知し、住民への活動の浸透と会計の透明化を図るとともに、その活動が地域課題の解決やコミュニティづくりに寄与していくように支援する。
- ・小学校等を拠点として取組まれている生涯学習活動・生涯スポーツ活動を支援し、それぞれの活動を通じて、「区民同士を結ぶお互いのつながりと思いやり」を育むことにより、地域コミュニティづくりを推進する。
- ・「城東区ゆめ～まち～未来会議」や「アイラブ城北川実行委員会」等との協働により、まちづくりの担い手となる住民の自主的活動が活性化するように支援する。
- ・さまざまな世代の方々が音楽・芸術文化にふれる機会を提供する。
- ・種から育てる地域の花づくり支援事業を展開する。緑化リーダー育成講習会を通じ新たな担い手育成に取り組むとともに、小学校園や各種団体等と連携するなど、新たな担い手の発掘も行い、広範で持続可能な緑化活動をめざし取り組む。
- ・既存の各種区民大会の実施とともに、より内容の充実を図れるよう検証を行う。城東区体育厚生協会及び城東区スポーツ推進委員協議会により開催される事業に関し、事業の拡大も視野に入れながら支援を行っていく。

戦略1-1の具体的取組

[1-1-1 地域活動協議会の情報発信などの支援]

- ①区役所及び中間支援組織による地域活動協議会に対する活動支援（会計処理及び情報公開、住民参加促進等の支援）
- ②地域活動協議会に関する各活動の情報発信支援
 - ・SNSやHPの運営支援の継続及びその他広報媒体の作成支援
 - ・区広報紙等を通じた活動紹介の継続（年2回発行）

H25 決算額	38,861千円	H26 予算額	61,145千円	H27算定 見込額	58,728千円
------------	----------	------------	----------	--------------	----------

※H25決算は事業の一部を市民局事業として実施

[業績目標]

より多くの区民に地域活動協議会に関する様々な活動について情報発信できるよう16地域すべてでSNSやHPを立ち上げを支援する。

[撤退基準]

平成27年度中に16地域すべてで達成できなかった場合、支援内容を再構築する。

[前年度までの実績]

SNSが1地域、HPが1地域。

[1-1-2 生涯学習等]

- ①「小学校区教育協議会－はぐくみネット－」事業
 - ・学校・家庭・地域が一体となって、子どもをはぐくむ「教育コミュニティ」づくりの推進（16校下、2,000人）
- ②区における生涯学習事業
 - ・生涯学習ルーム等の学びを通じた地域住民間の交流を促進することによるコミュニティづくりの推進
- ③学校体育施設開放事業
 - ・市立学校の体育施設を地域に開放し、地域住民による自主的、主体的な運営の推進

H25 決算額	5,686千円	H26 予算額	9,008千円	H27算定 見込額	8,854千円
------------	---------	------------	---------	--------------	---------

※H25決算は事業の一部を区CM事業（教育委員会事務局所管）として実施

[業績目標]

①～③の各事業の参加者数を前年度より増加させる。

[撤退基準]

上記目標に達しない場合は実施手法を再構築する。

[前年度までの実績]

- ①16校下/1,868名（協力者）
- ②160講座/33,487名
（ルーム・受講者延べ人数）
- ③22小中学校/214,625名
（参加者人数）



用語解説

「地域活動協議会」

自分たちの「まちづくり」を住民自身がみんなで決め、解決していく場として、小学校区ごと全16地域にあります。

地域まつり、ふれあい喫茶、子育てサロン、百歳体操、防災訓練、防犯活動をはじめ、運動会、敬老行事、成人の日のつどい、緑化・清掃活動、街路防犯灯の管理など、地域それぞれの特徴ある自由な取組が行われています。

この地域活動協議会は、これまで地域活動に取り組んでこられた地域振興会や校下社会福祉協議会などの様々な団体に加えて、学校、病院、企業、商店街など地域のみんながまちづくりに参加できます。

戦略1-1の具体的取組

[1-1-3 未来わがまちビジョン・城北川アメニティゾーン化計画]

- ①「城東区未来わがまちビジョン」が10年目を迎えることから、これまでの活動の振り返りや検証を行い、今後の方向性について検討を行う。
 - ・フォーラム等の開催
 - ・PR冊子、ポスター等の作成
- ②「城北川アメニティゾーン化計画」の実現に向け各種事業を展開する。
 - ・城北川フェスティバルの開催
 - ・城北川桜の通り抜け、夜桜ライトアップの開催

H25 決算額	11,293千 円	H26 予算額	13,444千 円	H27算定 見込額	9,232千円
------------	--------------	------------	--------------	--------------	---------

[業績目標]

事業参加者に対するアンケートを実施し、参加して良かったと感じる区民の割合85%以上

[撤退基準]

上記目標が70%に満たない場合は、手法を再構築する。

[前年度までの実績]

・「城東区ゆめ～まち～未来会議」主催により、各地域活動団体と連携し、「フラワーロード」活動の推進、「合唱祭」「第九演奏会」「SARUGAKU祭」等を実施。
・アイラブ城北川実行委員会を中心に「城北川フェスティバル」「キャンドルナイト」等を実施。

[1-1-4 音楽・芸術]

- ①若年層が音楽にふれる機会を増やし、他校との交流によるスキルアップを図る
 - ・城東区内中学校等による吹奏楽フェスティバルの開催
- ②さまざまな世代が芸術文化にふれる機会の増加ときっかけづくり
 - ・城東区ロビーコンサートの開催
 - ・音楽の祭日の開催
- ③ゆめ～まち～未来会議が主催する「城東区第九演奏会・合唱祭」などの開催支援
- ④城東区青少年指導員による中学生絵画・写真コンクールの開催支援

H25 決算額	849千円	H26 予算額	855千円	H27算定 見込額	852千円
------------	-------	------------	-------	--------------	-------

[業績目標]

来場者アンケートで「満足した」と回答した割合95%以上

[撤退基準]

上記目標が80%以下の場合、再構築する

[前年度までの実績]

・各種音楽事業における来場者アンケート満足度94%（平成25年度実績※吹奏楽フェスティバルを除く）
・絵画写真展等各種団体等と連携し開催。

戦略1-1の具体的取組

【1-1-5 緑化活動・スポーツ】

- ①花と緑のまちづくり事業の内容充実、区内緑化の推進
- ・城東区緑化リーダーの育成（32名）
 - ・既存団体のみに止まらず、小学校園・NPO等との多様な連携
 - ・緑化活動を通じ人と人のつながりの構築、地域コミュニティの推進
- ②区民スポーツ・レクリエーション事業
- ・既存10大会及びミニマラソン、小学校駅伝大会の検証
 - ・体育厚生協会及びスポーツ推進委員協議会の事業支援

【業績目標】

- ①年間緑化ボランティア従事者延べ人数約7000人以上
- ②各種スポーツ大会参加者延べ人数約2000人以上

【撤退基準】

- ①年間緑化ボランティア従事者の延べ人数が3500人を下回った場合は再構築
- ②各種スポーツ大会参加者の延べ人数が1000人を下回った場合は再構築

【前年度までの実績】

- ①年間緑化ボランティア従事者延べ人数約5000人（平成25年度実績）
- ②各種スポーツ大会参加者延べ人数1724人（平成25年度実績）

H25 決算額	2,091千円	H26 予算額	2,649千円	H27算定 見込額	2,744千円
------------	---------	------------	---------	--------------	---------



【戦略1－2】 都市魅力の情報発信

めざす成果（概ね3～5年間を設定）

《めざす状態》

- ・多くの区民が、城東区の歴史的・文化的な魅力に関する情報発信が十分にできていると感じている状態

《成果目標》

- ・城東区の歴史的・文化的な魅力に関心がある割合 平成29年度末までに50%以上

戦略

- ・城東区の歴史的・文化的な魅力に触れられるよう、分かりやすく情報を発信する。

戦略1－2の具体的取組

【1－2－1 区の歴史的、文化的魅力の情報発信】

新規

①区内名所・旧跡等への案内板の設置（11箇所）

H25 決算額	- 千円	H26 予算額	- 千円	H27算定 見込額	1,806千円
------------	------	------------	------	--------------	---------

②城東区ふれあいマップの改訂版の作成と配布（4,900部）

H25 決算額	725千円	H26 予算額	- 千円	H27算定 見込額	3,481千円
------------	-------	------------	------	--------------	---------

③城東区歴史冊子作成事業（小学校の地域学習への活用） （1,500部）

H25 決算額	2,507千円	H26 予算額	1,021千円	H27算定 見込額	519千円
------------	---------	------------	---------	--------------	-------

④区広報紙の刷新やホームページ、ツイッターを活用した 情報発信

H25 決算額	12,189千円	H26 予算額	15,825千円	H27算定 見込額	39,220千円
------------	----------	------------	----------	--------------	----------

①から④の合計

H25 決算額	15,421千円	H26 予算額	16,846千円	H27算定 見込額	45,026千円
------------	----------	------------	----------	--------------	----------

【業績目標】

区民モニターにおいて、城東区に愛着を感じる理由が、「歴史・伝統が残っているから」「まちの雰囲気が良いから」の割合を前年度より増加させる。

【撤退基準】

上記目標に達しない場合は手法を再構築する。

【前年度までの実績】

ふれあいマップ作成
（10,000部）
城東区歴史冊子作成
（14,500冊）